

Integrity"



REALTOR

son

ciates

010

0-6202

Rental

acoustic days
barbora

夕暮れと海とギター

昼までの梅雨ぐもりの空から、陽の光がそそいできて。
窓から入る風が心地よく、わずかに斜がかった光を見てたら海と話したくなり、電車で飛び乗る。

由比ヶ浜へ向かう電車の中。

窓を流れてく街を徐々にオレンジが染める。
海までもうすぐ。

はじめまして。
これからこちらでブログ書かせていただきます。

この場を通して『なにか』を探せたら。
そんな風に思っています。
よろしくお付き合いください。

2009.06.19 Fri

空と海のあいだで



風はまだ冷たいけれど、海は変わらず波を繰り返してる。

来て良かったと心から思う。

潮風で肌がべたつくのも今は全然気にならない。

あと少し、もう少しここにいて、世界のことについて考えよう。

2009.06.19 Fri



雨季の中で、ほっとするような晴れ間。
そんな日が暮れていく。

昨日出かけた由比ガ浜で、空の広さをあらためて知る。
今日の空は昨日よりも機嫌がいいらしい。

あの夕暮れのとまとまで一。

僕と影で追いかけてこ。

2009.06.20 Sat

日の長きこと



一年でいちばん昼の長い日。
今日を境に、夜が少しずつ長くなる。
宇宙を漂い続ける地球の、今季折り返し地点。

夏至一。

夏という言葉とうらはらに、梅雨のまんなかで空気もぬれている。本物の夏が訪れるのはあとひと月ほど先か。

もちろん待ち遠しいが、この季節もなかなかのもの。

2009.06.21 Sun



風に急かされて、家路につく雲。
ひとときとして同じ場所にはない。

無常一。

僕らも同じ。
繰り返しに見えて、同じ時、同じ瞬間は二度と訪れない。

変化を受け入れながら、ちがう日々を繰り返す。

移ろいゆく時のお話。

2009.06.22 Mon

空に車庫



吸い込まれそうな空に、思わず立ち止まる。

眼下にはたくさんのレール。

ここは電車の休憩所。

ひと休みして、さあ行こう。

2009.06.23 Tue



公園散策。

緑がとても多い場所。
園内の休憩所へ立ち寄る。

小上がりに、テーブルと座布団。

時間が遡る、遡る。

2009.06.23 Tue

ばいばい、またね



湿気をたっぷり含んだ空。

こんな日の夕暮れは紫色。
雨季と夏が入り混じった色。

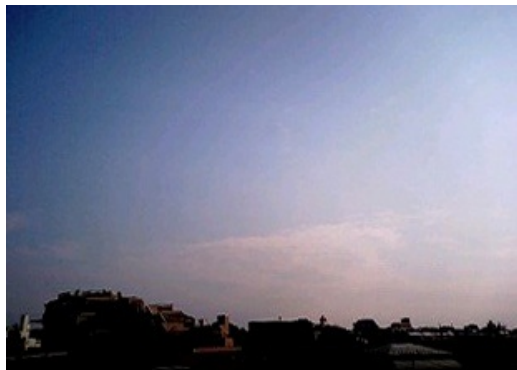
ぬるい空気が少しずつ落ち着いて
浅い夜の匂いに変わってく。

太陽と過ごした日。
次はいつ会えるかな？

ばいばい、またね。

2009.06.23 Tue

やわらかい日差しが



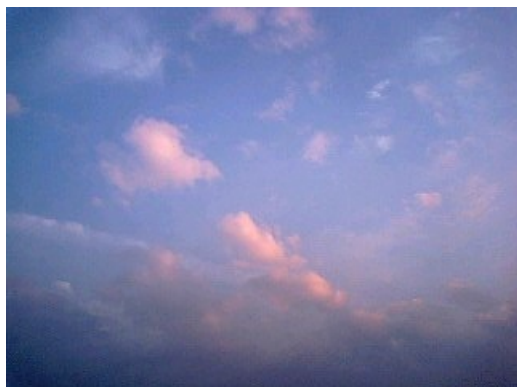
あらしのような雨のあとに、やわらかい日差し。

今日すべきことがまだ残る僕の
弱気な背中を押してくれる。

きつとこのあと少しずつ、
赤く染める色遊び。

夜が町に降りるまで。

2009.06.24 Wed



どうして空があおくって
どうして夕焼け あかいんだ？

だれかの考えた知識で片してもいいけど
「そういうものだよ」とわらうのもいい。

空があおいと元気になって
夕焼け あかいとぎゅっとなる。

そういうものだよ。

2009.06.24 Wed